

図書館だより

No. 67

★7月・夏休み前の開館予定（変更になることもあります）

日	月	火	水	木	金	土
	1 正○ 共◎	2 正○ 共◎	3 正○ 共◎	4 正○ 共◎	5 正○ 共◎	6 休館
7 休館	8 正○ 共◎	9 正○ 共◎	10 正○ 共◎	11 正○ 共◎	12 正○ 共◎	13 休館
14 休館	15 休館	16 正○ 共◎	17 正○ 共◎	18 正○ 共◎	19 正○ 共◎	20 休館

開館時間

正（正道館学習室） 共（共生図書館）
07:00~17:00 ◎9:00~19:30 △8:30~17:00

待望の新作

『告白撃』（住野よる・著）

人間関係に焦点をあてた意欲作です



☆第1回 校内ビブリオバトル大会



4人のバトルヤーが発表後、紹介本を確認しているところです。（写真は理事長コラムよりコピー）

6/1月影祭にて第1回の校内（一貫校）ビブリオ大会を実施。4・5年生67名の中から選出された4名の熱戦が繰り広げられました。（担当・阿久澤、福田先生）紹介本は以下の本です。

- ①姚程さん『太平洋の巨鷲一山本五十六』（大木毅・著）
- ②引原透子さん『銀河鉄道の夜』（宮澤賢治・著）
- ③橋本家英さん『残像に口紅を』（筒井康隆・著）
- ④渡辺紗さん『花の鎖』（湊かなえ・著） **チャンズ本**

☆トピックⅠ

宿題にはなっていませんが、今年も読書感想文課題図書が入荷しました。幅広く、現代社会の課題や現実をテーマとして扱った良書が多く、読んで損はない作品ばかりです。

さて、辻村深月さんの本『あなたの言葉を』の中に「読書感想文」について、こんな一文が載っています。「1年に1冊しか本を読まない子が確実にその1冊を読む事、その本を通じて文章を書く事には意味があります」と。ビブリオもそうですが感想を文章にする作業は思わぬ「整理された思考」を生み出す事につながりそうです。是非ひと言でも良いので本を読んだら「書く事の習慣化」お勧めです。

☆中学校の部の今年度課題図書

『靴ノ往来堂』（佐藤まどか・著）

『希望のひとしづく』（キース・カラブレーゼ著）

『アフリカで、バッグの会社ははじめました』（江口絵理・著）

☆高等学校の部の今年度課題図書

『宙（そら）わたる教室』（伊予原新・著）

『優等生サバイバル：青春を生き抜く13の法則』

（ファン・ヨンミ著）

『私の職場はサバンナです！』（太田ゆか・著）

☆トピックⅡ「郵便切手代値上げ（10月より）」

値上げのきっかけには「手紙文化の衰退・SNSの普及」があるようです。新着本『鳥と港』（佐原ひかり・著）はそんな手紙のやりとり・文通を仕事にしてクラウドファンディングに挑戦した物語。

院卒で入社したが、会社になじめず辞職した「みなと」と高2で不登校の「飛鳥」は立ち寄った公園の草むらの郵便箱を見つけ、互いに手紙をそこに投函するようになり文通が始まる。心を通わせることになった「文通」を仕事にして行く事を発案。「無いなら作ろう！」
これからの働き方の提案を描いていて興味深い1冊。



☆新着本の一部紹介

『友達関係で悩んだときに役立つ本を紹介します』

友だち関係でモヤモヤしたり、息苦しかったりどうしたらいいんだろう？と悩んでいる時、助けになってくれる本、『モモ』、『本屋さんのダイアナ』などを作家、哲学者など19名の先輩が文章とともに紹介。

『SNSのモヤモヤとの上手なつきあい方』

（Poche著）

「既読になっているのに返事が無い」などのモヤモヤ。そんな時のメンタルの整え方を心理士が伝授。